

目 次

第1部 総 説

はじめに	1
第1章 環境問題の動向	1
第1節 本県における環境問題の変遷	1
1 産業公害の時代	1
2 都市・生活型環境問題へ	1
3 新たな環境問題の顕在化	1
4 環境新時代と環境基本計画の策定	2
第2節 最近の環境問題	2
1 地球温暖化問題	2
2 廃棄物とダイオキシン問題	2
3 有害化学物質問題	2
4 ディーゼル車排出ガス問題	3
第2章 本県の最近の取組	4
第1節 循環型社会の構築	4
1 背景	4
2 千葉県における資源循環型社会づくりの課題と可能性	4
3 計画等の策定	4
第2節 ちば環境再生計画	5
1 計画の概要	5
2 基金の創設	5
第3節 生物多様性の保全	5
1 里山条例の制定	6
2 生物生息空間（ビオトープ）確保の推進	6
第4節 ディーゼル車排出ガス対策	7
1 ディーゼル条例制定の背景	7
2 法による自動車排出ガス規制	8
3 条例によるディーゼル車排出ガス規制	9
4 総合的な自動車交通公害対策の推進	10
第5節 産業廃棄物の不適正処理対策	11
1 不法投棄撲滅ネットワークの整備	11
2 組織及び体制の強化	12
3 不法投棄箇所の撤去指導等	13
4 条例の制定	13
5 適正処理の推進及び環境の保全	14
第6節 三番瀬の再生の取組	14
第7節 地球温暖化防止対策	15
1 千葉県地球温暖化防止計画	15

2	千葉県地球温暖化防止対策実行計画（県自らの取組）	16
第8節	NPO等との連携の推進	17
第9節	その他の取組	18
1	閉鎖性水域の水質保全対策	18
2	千葉県射撃場の環境保全対策	18
3	環境保全に関する率先した取組	18
4	環境新技術の開発支援に向けた取組	18
第3章	環境施策の展開	20
第1節	総合的環境施策の推進	20
第2節	地球環境問題	21
1	概況	21
2	施策	21
第3節	自然環境	21
1	概況	21
2	施策	21
第4節	大気環境	23
1	概況	23
2	施策	23
第5節	自動車交通公害	24
1	概況	24
2	施策	24
第6節	騒音・振動・悪臭	25
1	概況	25
2	施策	25
第7節	水環境	26
1	概況	26
2	施策	26
第8節	地質環境	28
1	概況	28
2	施策	28
第9節	一般廃棄物	28
1	概況	28
2	施策	29
第10節	産業廃棄物	29
1	概況	29
2	施策	30
第11節	化学物質	31
1	概況	31
2	施策	31
第4章	環境学習の推進	32
第1節	環境学習の必要性	32
第2節	環境学習の基本的な考え方	32

1	環境学習の理念	32
2	トビリシ宣言に示された目標	32
3	千葉県環境学習基本方針	33
第3節	環境学習の展開	35
1	生涯学習としての取組	35
2	学校教育としての取組	37
3	広報活動	37
第4節	パートナーシップの構築に向けて	38
1	地域に根ざした環境学習の必要性	38
2	こどもエコクラブへの支援	38
3	市民・企業・行政の連携と協働	38

第2部 環境の現状と対策

第1章	総合的環境保全対策の推進	41
第1節	千葉県環境基本計画	41
1	千葉県環境基本計画の策定	41
2	基本計画の概要	42
第2節	千葉県資源循環型社会づくり計画	45
1	計画の性格と位置付け	45
2	千葉県が目指す資源循環型社会の将来像とその実現に向けた基本方向	45
3	資源循環型社会の実現に向けた行動指針と戦略プロジェクト	45
4	資源循環型社会の実現に向けた体制	47
第3節	ちば環境再生計画	47
1	計画の策定	47
2	計画の概要	47
3	ちば環境再生基金の概要	48
第4節	「バイオマス立県ちば」推進方針	51
1	施策の方向性	51
2	推進方策	51
第5節	千葉県西・中央地域エコタウンプラン	51
第6節	環境マネジメントシステム	52
1	環境マネジメントシステムの構築について	52
2	環境マネジメントシステムの概要	52
3	I S O 14001 をめぐる動き	53
第7節	エコテク・サポート制度 ～環境新技術推進制度～	60
1	エコテク・サポート制度の制定	60
2	制度の内容	60
3	制度の適用実績	60
第8節	公害防止計画	60
1	千葉地域公害防止計画の策定	60
第9節	公害防止協定	64
1	制度の概要	64
2	基本協定の概要	64

3	細目協定の概要	64
4	締結の経緯	64
5	かずさ環境協定	64
第10節	環境影響評価制度等	67
1	環境の汚染を未然に防止する制度	67
2	環境影響評価制度の概要	67
3	開発行為の事前審査	71
第11節	環境月間	71
1	千葉県環境月間行事の実施	71
2	環境保全功労者の表彰	71
3	その他	71
第12節	千葉県地域環境保全基金	74
1	設置の趣旨	74
2	基金の額	74
3	基金運用益の処理及び使途	74
第2章	地球環境	75
第1節	地球規模の環境問題	75
第2節	地球環境保全に向けた取組	76
1	国際的な取組	76
2	日本の取組	76
3	千葉県の取組	77
4	主な地球環境保全対策	77
5	国際環境協力の推進	78
6	関係地方公共団体との協力	79
第3章	自然環境	80
第1節	自然環境の体系的保全	80
1	施策の総合的推進	80
2	自然環境保全地域等の指定と保全	82
3	自然環境保全基礎調査等の実施	82
4	協定等による自然環境の保全	82
5	みどりの基金の造成	83
第2節	自然公園の保護と利用	83
1	自然公園の指定	83
2	自然公園の保護管理	83
3	自然公園の施設整備	83
第3節	生物の多様性の確保	84
1	野生生物の生息・生育状況	84
2	生物の多様性の確保対策	85
第4節	鳥獣の保護管理	85
1	鳥獣の保護	85
2	鳥獣の管理	86
3	鳥獣による農作物等被害対策	86

4	狩猟の適正化	86
第5節	自然とのふれあいの確保	87
1	ふれあいのための施設整備	87
2	ふれあいの機会の創出	88
第6節	森林の保全	88
1	森林の現状	88
2	森林の保全対策	88
第7節	都市の自然環境の保全	89
1	緑の基本計画と県広域緑地計画	89
2	都市公園の整備	91
3	都市の緑地等の保全	91
第8節	文化財の保護	94
1	史跡名勝天然記念物の指定	94
2	保護対策	94
第4章	大気環境	96
第1節	大気汚染の現状	96
1	発生源の状況	96
2	汚染物質別の概況等	97
第2節	大気汚染防止対策	104
1	発生源対策	104
2	緊急時対策	109
3	監視体制の整備	110
4	大気情報管理システムの整備	111
第3節	大気汚染による影響・被害	111
1	健康被害	111
2	農作物被害	113
第5章	騒音・振動	114
第1節	騒音の現状	114
1	苦情の実態	114
2	発生源の状況	114
第2節	騒音防止対策	115
1	規制及び監視	115
2	指 導	116
3	今後の対策	117
第3節	振動の現状	117
1	苦情の実態	117
2	発生源の状況	117
第4節	振動防止対策	118
1	規制及び監視	118
2	指 導	120
3	今後の対策	120

第6章	航空機騒音	121
第1節	航空機騒音の現状	121
1	成田空港の航空機騒音	121
2	その他の航空機騒音	121
第2節	航空機騒音防止対策	124
1	成田空港の騒音対策	124
2	その他の航空機騒音対策	127
第7章	自動車交通公害	128
第1節	自動車交通公害の現状	128
1	自動車保有台数と走行量の状況	128
2	道路沿道の大気汚染状況	128
3	自動車交通騒音振動の状況	129
第2節	自動車交通公害防止対策	130
1	総合的な自動車交通公害対策の推進	130
2	自動車単体規制の強化	131
3	車種規制の実施	132
4	低公害車等の普及促進	132
5	交通量抑制対策	133
6	自動車騒音及び道路交通振動の対策	134
7	局地対策	134
8	条例に基づくディーゼル自動車排出ガス対策	134
第8章	悪臭	136
第1節	悪臭の現状	136
1	苦情の実態	136
2	畜産農業に係る悪臭	136
第2節	悪臭防止対策	136
1	規制及び監視	136
2	指導	137
3	今後の対策	139
4	関連対策	139
第9章	水環境	140
第1節	水質汚濁の現状	140
1	水質汚濁の主な要因	140
2	公共用水域等の状況	141
3	水質汚濁による影響・被害	146
第2節	水質保全対策	148
1	公共用水域の監視	148
2	工場・事業場の規制・指導	148
3	印旛沼・手賀沼の水質保全対策	151

4	東京湾の水質保全対策	154
5	生活排水対策	154
6	水道水源の水質保全対策	157
7	関連基盤整備対策	157
第10章 地質環境		161
第1節	地盤沈下の現状と対策	161
1	地盤沈下の状況	161
2	地盤沈下防止対策	165
第2節	地下水汚染の現状と対策	170
1	地下水汚染の状況	173
2	地下水汚染防止対策	174
第3節	土壌汚染の現状と対策	175
1	農用地の土壌汚染の現状	175
2	農用地の土壌汚染防止対策	176
3	市街地の土壌汚染防止対策	176
第11章 廃棄物		177
第1節	一般廃棄物	178
1	一般廃棄物の現状	178
2	一般廃棄物処理対策	179
第2節	産業廃棄物	186
1	産業廃棄物の現状	186
2	産業廃棄物処理対策	188
3	関連対策	192
第12章 化学物質		195
第1節	P R T R制度（環境汚染物質排出・移動登録制度）への取組	195
1	化管法の概要	195
2	P R T R制度の活用	196
第2節	千葉県化学物質環境管理指針	200
1	事業者による自主管理の促進	200
2	千葉県化学物質環境管理指針の概要	200
第3節	ダイオキシン類対策	200
1	ダイオキシン類	200
2	国の取組	201
3	県の取組	201
4	県の対策	203
5	日常生活の留意事項	204
第4節	内分泌かく乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）への対応	206

第13章	地域環境活動	219
第1節	市町村の取組	219
1	地球環境	219
2	自然環境	219
3	大気環境	219
4	水環境	219
5	地質環境	219
6	廃棄物	219
第2節	事業者の取組	220
1	最新技術の導入	220
2	自主管理体制の充実	220
3	国際協力	220
4	地域社会との相互理解の推進	220
第3節	県民の取組	220
第14章	その他の環境保全対策	222
第1節	公害紛争・公害苦情の処理	222
1	千葉県公害審査会	222
2	公害苦情相談	222
第2節	環境犯罪の取締り	222
1	環境犯罪	222
2	海上環境事犯	223
第3節	環境保全に関する調査・研究の推進	224
1	環境研究センターにおける調査・研究の推進	224
2	手賀沼親水広場における水質浄化・環境保全啓発活動	227
第4節	融資・助成制度	227
1	「千葉県中小企業環境保全施設整備資金融資制度」による融資制度	227
2	「千葉県公害関係測定機器等整備事業補助金交付要綱」による補助制度	228
第5節	特定工場における公害防止組織の整備	228
第6節	環境モニター制度	230
第7節	関係地方公共団体との協力の推進	230
1	近隣都県との協力の推進	230
2	市町村等との協力の推進	230
第8節	市町村の環境保全対策	230
1	公害監視測定体制	230
2	公害防止協定	230
3	環境保全対策予算	231
4	融資・助成制度	231
5	公害苦情相談	231
6	調査研究	231

資料編（目次は資料編の冒頭に記載）

- 1 環境行政の推進体制
- 2 法令等の整備
- 3 大気環境
- 4 水環境
- 5 地質環境
- 6 騒音・振動
- 7 廃棄物
- 8 化学物質
- 9 自然環境
- 10 地域環境活動
- 11 環境行政一般

環境用語解説（本文中*印のある用語等について解説）

- ・本白書は、平成14年度の環境の現状とその対策をまとめたものですが、平成15年度の事項についても一部記述することとしました。
- ・昭和及び平成の元号は原則として省略しております。